

ISO/TC46/WG2 報告

宮澤 彰

日時：2014-05-07 14:00-17:00

場所：米国ワシントン DC 議会図書館

参加国：フランス (Elizabeth Porteneuve 主査), フランス, オーストリア・TC37 (Christian Gallinsky), カナダ, 米国 (Kate Dolan ほか 4 名), 日本, 英国, ICANN (Jaap Akkerhuis), オーストラリア, アイルランド (Michael Everson), TC46 事務局, スウェーデン

議事内容：出席者確認のあと, 2. 事務局報告, 3. MA 報告, 4. その他の報告, 5. 3166 の major revision というアジェンダであったが, まったくそのようには進まなかった。議論は錯綜していたが, 問題となったのは 2 点である。ひとつは, 国名コードの無料での提供であり, もう一つが, 3166-1 での original script での国名の表示を加えるという改訂 (JA の行の JAPAN 等の後ろの方に "日本国" が加わる) である。

- ・無料での提供は, アイルランドの委員らが強い口調で主張していた。現在ブラウズは無料で可能であるが, ダウンロードは年間 300 スイスフランの有料となっている。従前からのメンバーは, 以前にも (何回か) 無料での提供をアピールしてきていると反論。結局, 再度のアピールを行うことになり, recommendation の文面が議論され「以前のように」無料アクセスできることを要求することになった。

- ・original script での国名表示は, major revision として昨年から問題にされている点で, IETF の John Klensin も反対して, 文書 (TC46_N2471) を出した経緯がある。今回は, TC37 のオーストリアも反対をした。ICANN, アイルランドも反対の立場である。米国は, MA としての立場もあり, original script 反対の立場は理解するが, original script に対する要求も理解できるというスタンスに思われる。主査, Elizabeth Porteneuve は, オリジナルスクリプトでの表示がシステムによってまちまちになってしまう (主として東欧系言語のダイアクリティクスつきラテン文字の例を挙げていた。) 点について, 何とかならないかと主張。結局まとまらず, マイナーリビジョンを進めることだけが結論となった。